

# 現場説明書

工事名: R3徳土 多々羅川 徳・三軒屋他 橋梁下部工事(担い手確保型)

## 工 程

### 1 他工事等との調整 (対象 有)

<sup>1</sup> 本工事区間には「R2徳土 多々羅川 徳・大松他 橋梁下部工事(1)(着手日指定型)」及び「R2徳土 多々羅川 徳・三軒屋他 橋梁下部工事(2)(着手日指定型)」が隣接して施工されているため、施工については工程調整等を行うこと。

### 2 施工の制限(対象 有)

本工事の仮設工の施工にあたっては、監督員の指示(指示予定日:令和4年1月上旬)があるまで施工してはならない。この予定の変更に伴い工期変更の必要が生じる場合には、監督員と協議することができる。

### 3 作業時間帯(対象 無)

### 4 工事履行報告書(対象 有)

監督員が工程を把握し必要に応じて工事促進の指示を行う必要があるため、設計図書に基づき工事履行報告書を作成するものとする。

### 5 その他(対象 無)

## 用地 関係

### 1 ブロック製作ヤード(対象 無)

### 2 仮置ブロック(対象 無)

## 支 障 物 件

受注者は、工事着手前に必ず工事施工箇所の支障物件について確認し、監督員に「支障物件確認書(現場着手時)」を提出し、監督員の確認を受けた後、工事に着手すること。

### 1 支障物件の事前調査(対象 無)

### 2 支障物件の撤去(対象 無)

### 3 立木の置き場所(対象 無)

### 4 その他(対象 無)

## 公 害 対 策

### 1 事業損失防止対策(対象 無)

### 2 濁水処理(対象 無)

### 3 低騒音型・低振動型建設機械(対象 有)

本工事は低騒音型・低振動型建設機械の使用を見込んでいます。なお、これによりがたい場合は監督員と協議するものとする。

### 4 六価クロム溶出試験(対象 無)

## 安 全 対 策

### 1 交通安全施設等(対象 有)

# 現場説明書

工事名: R3徳土 多々羅川 徳・三軒屋他 橋梁下部工事(担い手確保型)

交通安全施設等について、関係者との協議により、通常想定される施設等と大幅に異なる場合には監督員と協議を行って実施するものとし、必要と認められる経費については変更契約できるものとする。

## 2 交通誘導警備員(対象 有)

本工事の交通誘導警備員は次のとおり見込んでいる。なお、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議するものとする。

必要日数	200日
交通誘導警備員B	200人(交替要員無し)

## 3 足場通路等からの墜落防止措置(対象 有)

高さが2m以上の箇所で行う場合は、墜落防止に留意し、作業日毎に「墜落防止チェックシート」を活用して点検を行い、その記録を保管すること。

## 建設副産物

### 1 建設発生土の利用(対象 有)

本工事は、次に掲げる工事からの建設発生土を使用するものとする。なお、品質等により使用が困難な場合は、監督員と協議するものとする。

工事名	川西工区
箇所名	徳島市上八万町川西
運搬距離	L=7.0km

### 2 建設発生土の搬出(対象 有)

本工事の建設発生土については、次に掲げる工事に搬出すること。なお、受入側との協議等で搬出が困難な場合は、監督員と協議するものとする。

工事名	川西工区
箇所名	徳島市上八万町川西
運搬距離	L=7.0km

### 2 建設発生土の搬出(対象 有)

本工事の建設発生土(河床掘削土等)については、次に掲げる工事に搬出すること。なお、受入側との協議等で搬出が困難な場合は、監督員と協議するものとする。

工事名	—
箇所名	(株)ヒロックス 阿南市加茂町黒河22-10ほか6筆
運搬距離	L=40.1km

### 3 再生利用のための建設副産物の搬出(対象 有)

- 受注者は、本工事の施工により発生する次の建設副産物について、再資源化を行うため産業廃棄物中間処理許可施設(再資源化施設)へ搬出すること。また、搬出に際しては、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を遵守しなければならない。
- 受注者は、建設副産物の搬出前に受入場所・条件等について、監督員と協議するものとする。
- 自己処理を希望する場合は、監督員と協議するものとする。
- 受入先との協議の結果、再資源化が困難である場合は、監督員と協議するものとする。

	コンクリート塊	アスファルト塊	木材	汚泥	その他
対象物	○				廃プラ

# 現場説明書

工事名: R3徳土 多々羅川 徳・三軒屋他 橋梁下部工事(担い手確保型)

- 4 最終処分のための建設副産物の搬出(対象 無)
- 5 建設汚泥の自工事現場内における再生利用(対象 無)
- 6 建設汚泥の中間処理方法等(対象 無)
- 7 建設汚泥処理土の利用(対象 無)
- 8 建設汚泥処理土の搬出(対象 無)
- 9 剥ぎ取り表土の利用(対象 無)
- 10 一般廃棄物の搬出(対象 無)
- 11 根株等の利用(対象 無)
- 12 根株処理工の出来高の算出(対象 無)

## 工 事 用 道 路

- 1 工事用道路等の補修(対象 有)

残土搬出等に伴い、現道補修および防塵処理等の必要が生じた場合には、監督員と協議を行って実施するものとし、必要と認められる経費については変更契約できるものとする。

## 仮 設 備

- 1 床掘(対象 有)

床掘の施工に際し、安全管理上特別な対策を講ずる必要が生じた場合は、監督員と協議を行って実施するものとし、必要と認められる経費については、変更契約できるものとする。

- 2 鋼矢板等の打込引抜工法(対象 有)

鋼矢板(橋脚部)の打込方法として、鋼矢板圧入工法を見込んでいる。

また、鋼矢板等の損料は、120日間を見込んでいる。

鋼矢板(ブロック張部)の打込方法として、鋼矢板圧入工法を見込んでいる。

また、鋼矢板等の損料は、82日間を見込んでいる。

なお、着手前に監督員と施工方法を協議した上で実施するものとし、工法等が変更となる場合は、監督員と協議するものとし、必要と認められる経費については変更契約できるものとする。

- 3 仮設防護柵工(対象 無)

- 4 仮締切り(土留)(対象 有)

鋼矢板による締切りを行う場合は下記により実施すること。

なお、切梁腹起しの盛替え等が必要な場合は、監督員と協議を行って実施するものとし、必要と認められる経費については変更契約できるものとする。

矢板天端高 TP+2.8m

主たる形状  
(高強度腹起し) H-800x400x16x36

主たる形状  
(腹起し) H-400x400x13x21

このうち、本工事では85日間の供用期間を見込んでいる。

# 現場説明書

工事名:R3徳土 多々羅川 徳・三軒屋他 橋梁下部工事(担い手確保型)

なお、引き渡し時期、設置期間が変更となる場合は監督員と協議するものとし、必要と認められる経費については変更契約できるものとする。

## 5 仮設道路部材質料(対象 有)

仮設道路における銘桁等の賃料は、下記の通りである。

名称	規格・寸法等
銘桁(仮橋)	桁長 L=20m, 幅員 W=10m, 主桁間隔 2m
覆工板(仮橋)	(L)2m × (W)2m × (H)0.2m
H形鋼(仮橋)	H-400x400x13x21 L=17.5m N=5本
H形鋼(仮橋)	H-400x400x13x21 L=18.0m N=6本
H形鋼(仮橋)	H-400x400x13x21 L=18.5m N=1本
敷鉄板	22 × 1524 × 3048

賃料は、260日間を見込んでいます。

なお、引き渡し時期、設置期間が変更となる場合は監督員と協議するものとし、必要と認められる経費については変更契約できるものとする。

## 6 水替施設(対象 有)

本工事の施工に必要な排水規模は、次のとおり見込んでいますが施工時において大幅な変更が生じた場合には、監督員と協議を行って実施するものとし、必要と認められる経費については、変更契約できるものとする。

イ. 常時排水 40 m<sup>3</sup>/hr

ロ. 締切方法 鋼矢板

## 7 異常出水の処置(対象 有)

- 1 出水等に対する仮設物の必要が生じた場合は、監督員と協議を行って実施するものとし、必要と認められる経費については変更契約できるものとする。
- 2 異常出水に伴って、仮設構造物の撤去の必要が生じた場合には、監督員と協議を行って実施するものとし、必要と認められる経費については変更契約できるものとする。

## その他

### 1 図面の電子納品(対象 有)

本工事で提供する発注図面は、CADデータ(SFC形式)であるため図面を電子納品の対象とする。なお、発注図面については次のとおりである。

CAD製図基準に準拠していない。

### 2 標準断面図板設置の省略(対象 無)

### 3 しゅん工標設置の省略(対象 無)

### 4 施工計画書(対象 無)

※受注者は、当該項目の対象の有無に関わらず、当初請負対象金額が5,000万円以上の工事及び低入札価格調査制度の低入札価格調査基準価格を下まわって落札した工事(低入札工事)においては、施工計画書を監督員に提出しなければならない。

### 5 同一の場所において施工する工事同士の現場代理人の兼務(対象 有)

# 現場説明書

工事名: R3徳土 多々羅川 徳・三軒屋他 橋梁下部工事(担い手確保型)

本工事は、下記工事と同じ現場代理人を配置することができる。ただし、現場代理人の兼務できる工事は2件までとする。

- ・R2徳土 多々羅川 徳・大松他 橋梁下部工事(1)(着手日指定型)
- ・R2徳土 多々羅川 徳・三軒屋他 橋梁下部工事(2)(着手日指定型)
- ・R3徳土 多々羅川 徳・三軒屋 河道掘削工事(担い手確保型)

※現場代理人の兼務については、同一の場所において施工する工事同士の兼務のほか、仕様書に記載された要件を全て満たす場合についても兼務を認めている。

## 6 三者会議※(対象 有)

本工事は、三者会議対象工事とする。

三者会議の開催は、工事着手前に実施し、施工条件の変更等の問題が生じた場合には必要に応じ、監督員と協議を行って、複数回開催することができる。

※「三者会議」とは、発注者と受注者と設計者の三者が一堂に会することにより、設計者の意図や施工上の留意点を受注者に的確に伝え、設計図書と現場との整合性を確認協議することにより、工事施行の円滑化と品質の確保を図ることを目的とし実施する。

なお、基礎杭や大規模仮設等専門性の高い工種を伴う工事では、施工者に専門工事業者(下請)の主任技術者を加え会議を実施する。

また、地質構造の複雑な箇所、地形の変化が大きい箇所等、特に地質情報の不確実性が高い現場における工事や地質技術者が参画することで当該工事の品質確保が図られると認められる工事では、地質技術者を参加させ会議を実施する。

## 7 コンクリートの単位水量の測定(対象 有)

受注者は、次の表に示す工種について単位水量測定を所定の回数実施し、単位水量の管理シートを作成するものとする。

工種	配合	使用量	測定回数
橋脚コンクリート	24-12-25(20)BBorN	240	5回
均しコンクリート	18-8-40BBorN	11	1回もしくは品質証明書
胴込コンクリート	18-8-40BBorN	75	1回
天端コンクリート	18-8-40BBorN	2	1回もしくは品質証明書
小口止コンクリート	18-8-40BBorN	7	1回もしくは品質証明書
平張コンクリート	18-8-40BBorN	7	1回もしくは品質証明書
合計(回)			10回又は6回及び品質証明書

## 8 セメント・モルタル吹付(対象 無)

## 9 水抜孔(対象 無)

## 10 種子吹付(対象 無)

## 11 植栽樹木の植え替え義務(対象 無)

## 12 使用材料の品質、規格、性能等(対象 無)

## 13 LED道路・トンネル照明灯の品質、規格、性能等(対象 無)

## 14 使用材料の品質規格等(製品名表示)(対象 無)

## 15 県産木材の使用(県産木製型枠以外)(対象 無)

## 16 新技術の活用について(対象 無)

## 17 アスファルト舗装工事(施工途中の交通開放)(対象 無)

# 現場説明書

工事名:R3徳土 多々羅川 徳・三軒屋他 橋梁下部工事(担い手確保型)

## 18 各種様式

各種様式については, 下記徳島県ホームページよりダウンロードすること。

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/2009091500237>

## 19 その他

本工事は, 一部債務負担行為付工事である。